

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年9月6日 (2018.9.6)

【公表番号】特表2016-540506(P2016-540506A)

【公表日】平成28年12月28日 (2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2016-533639(P2016-533639)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

C 0 7 K 16/24 (2006.01)

C 0 7 K 14/54 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

A 0 1 K 67/027 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A C

C 0 7 K 16/24

C 0 7 K 14/54

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 1/19

C 0 7 K 19/00

A 0 1 K 67/027

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/543 5 4 5 A

G 0 1 N 33/543 5 7 5

G 0 1 N	33/543	5 4 1 B
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	U
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	9/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/16	1 0 5
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	9/107	

## 【手続補正書】

【提出日】平成30年7月26日(2018.7.26)

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

C 1 7 o r f 9 9 ポリペプチド遺伝子産物 ( I L 4 0 ) に対する抗体であって、  
 a ) I g G、I g M、I g A、I g D または I g E ;  
 b ) モノクローナル抗体 ;  
 c ) F a b '、F a b、F ( a b ' )<sub>2</sub>、シングルドメイン抗体 ( s d A b )、F v または s c F v ( 単鎖 F v ) ;  
 d ) 標識抗体 ; または  
 e ) a ) ~ d ) の任意の組み合わせである、  
抗体。

【請求項2】

活性化 B 細胞が関与する疾患の治療にて使用するための、請求項1に記載の抗体。

【請求項3】

活性化 B 細胞が関与する疾患の診断にて使用するための、請求項1に記載の抗体。

【請求項4】

前記疾患は、リンパ腫、白血病、免疫不全または自己免疫疾患である、請求項2または3に記載の抗体。

【請求項5】

前記疾患は、全身性エリテマトーデス、リウマチ性関節炎または乾癬である、請求項2

または 3 に記載の抗体。

【請求項 6】

前記疾患は、I g A 欠損症候群である、請求項 2 または 3 に記載の抗体。

【請求項 7】

前記疾患は、リンパ腫である、請求項 2 または 3 に記載の抗体。

【請求項 8】

活性化 B 細胞が関与する疾患の治療にて使用するための、I L 4 0 のアミノ酸配列の一部若しくは全部、または I L 4 0 の成熟形態を含むペプチドまたは単離タンパク質であって、該ペプチドまたはタンパク質は I L 4 0 アゴニストである、ペプチドまたはタンパク質。

【請求項 9】

活性化 B 細胞が関与する疾患の診断にて使用するための、I L 4 0 のアミノ酸配列の一部若しくは全部、または I L 4 0 の成熟形態を含むペプチドまたは単離タンパク質であって、該ペプチドまたはタンパク質は I L 4 0 アゴニストである、ペプチドまたはタンパク質。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質であって、

a) I L 4 0 の配列変異型、多形体または種対応物；

b) I L 4 0 の置換変異型、挿入変異型または欠失変異型；

c) 以下からなる群から選択される I L 4 0 の非配列誘導体；

グリコシル化修飾 I L 4 0、化学修飾 I L 4 0 及び I L 4 0 抱合体；

d) I L 4 0 の機能的変異型；

e) I L 4 0 の機能的セグメント、I L 4 0 の保存領域、または I L 4 0 の非保存領域

；

f) I L 4 0 の融合タンパク質；または

g) a) ~ f) の任意の組み合わせである、

ペプチドまたはタンパク質。

【請求項 11】

前記疾患は、リンパ腫、白血病、免疫不全または自己免疫疾患である、請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 12】

前記疾患は、全身性エリテマトーデス、リウマチ性関節炎または乾癬である、請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 13】

前記疾患は、I g A 欠損症候群である、請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 14】

前記疾患は、リンパ腫である、請求項 8 または 9 に記載のペプチドまたはタンパク質。

【請求項 15】

活性化 B 細胞が関与する疾患の治療にて使用するための、I L 4 0 遺伝子または I L 4 0 c D N A のヌクレオチド配列の一部または全体を含む、核酸。

【請求項 16】

活性化 B 細胞が関与する疾患の診断にて使用するための、I L 4 0 遺伝子または I L 4 0 c D N A のヌクレオチド配列の一部または全体を含む、核酸。

【請求項 17】

I L 4 0 のアミノ酸配列の一部若しくは全部、または I L 4 0 の成熟形態を含むペプチドまたは単離タンパク質をコードする、請求項 15 または 16 に記載の核酸。

【請求項 18】

請求項 15 または請求項 16 に記載の核酸であって、

a) 別のヌクレオチド配列、標識または化学的誘導体に共役結合される；

- b) プライマー、プローブ、アンチセンス分子、または I L 4 0 遺伝子または I L 4 0 c D N A 配列をベースとしたオリゴヌクレオチドである；
- c) 異種核酸配列に付着した組換え型構造体である；または
- d) a) ~ c) の任意の組み合わせである；

核酸。

【請求項 1 9】

前記疾患は、リンパ腫、白血病、免疫不全または自己免疫疾患である、請求項 1 5 または 1 6 に記載の核酸。

【請求項 2 0】

前記自己免疫疾患は、全身性エリテマトーデス、リウマチ性関節炎または乾癬である、請求項 1 5 または 1 6 に記載の核酸。

【請求項 2 1】

前記疾患は、I g A 欠損症候群である、請求項 1 5 または 1 6 に記載の核酸。

【請求項 2 2】

前記疾患は、リンパ腫である、請求項 1 5 または 1 6 に記載の核酸。